

## 第21期 第15回福岡県内水面漁場管理委員会議事録

1. 日 時 令和6年1月24日(水) 14時00分～14時58分

2. 場 所 福岡市博多区東公園7番7号  
福岡県庁4階 漁業調整委員会室

### 3. 出席者

福岡県内水面漁場管理委員会委員 9名

### 4. 臨席者

福岡県農林水産部水産局水産振興課 2名

水産海洋技術センター内水面研究所 1名

福岡県農林水産部水産局漁業管理課 2名

福岡県内水面漁業協同組合連合会 1名

### 5. 議題及び議決内容

#### (1) えつ流刺し網による採捕許可について(協議)

(説明)

資料1に沿って県水産振興課から説明があり、協議の結果、原案のとおり承認され、第21期第8回福岡・佐賀両県内水面合同漁場管理委員会に臨むこととなった。

(主な質疑や意見)

特になし。

#### (2) 室見川の採捕禁止区域設定に係る委員会指示について(協議)

(説明)

資料2に沿って県漁業管理課及び水産振興課から説明があり、協議の結果、原案のとおり委員会指示を発出することが議決された。

(主な質疑や意見)

① 委員：禁止期間以外について、シジミを捕っている人は多いのか。

県：多い。

② 委員：当該委員会指示以外の制限は。

県：漁業調整規則に1cm以下の採捕を禁止する殻長制限がある。

#### (3) 資源管理の状況等の報告について(共同漁業)(報告)

(説明)

資料3に沿って県水産振興課から報告された。

(主な質疑や意見)

特になし。

#### (4) えつ遡上調査の実施について（協議）

（説明）

資料4に沿って県水産振興課から説明があり、協議の結果、原案のとおり承認され、第21期第8回福岡・佐賀両県内水面合同漁場管理委員会です承を得た上で、調査を実施することとした。

（主な質疑や意見）

- ① 委員：調査は何年くらいする予定か。  
県：傾向が分かるまでに、5年以上かかると考えている。
- ② 委員：調査の結果を受け、漁期を早めるかについては、早期の産卵群の保護も考慮した方が良い。  
委員：多方面から慎重に検討しなければならないと思う。

#### (5) 第21期第7回福岡・佐賀両県内水面合同漁場管理委員会について（報告）

（説明）

資料5に沿って県漁業管理課から報告された。

（主な質疑や意見）

特になし。

#### (6) その他

特になし。